

## 【報告第1号】

# 平成27年度日本山岳協会山岳共済会事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## 1. 総括

平成27年度の山岳共済会加入者は、56,032人で、今年度も目標の6万人突破が適わなかった。前年対比では835人の微増なのだが、あと一步が伸びない。外向けのアピールに工夫する必要がある。26年度に導入した口座振替や27年度7月から導入したWebからの申込みとクレジット決済が広く浸透することを期待したい。

総保険料収入に対する総保険金支払い割合の損害率は、33.15%と前年比で2.25ポイント上がった。昨年1年間(平成26年8月1日～平成27年7月31日)の保険金支払いは約1億843万円。辛うじて平成28年度の優良割引率は前年同様の25%適用が確保できたが、これ以上保険金支払いが増えると、優良割引率が下がり、保険料を上げざるを得なくなる。

今年度から共済会独自事業として始めた位置探知機「ヒトココ」のレンタルサービスは、申し込みが8件(内3件は岳連で無償)と振るわなかった。これも共済会々員向け告知について検討する必要がある。

日本山岳協会の役員改選に伴い、山岳共済会の役員を以下のように改選した。また、山岳共済会規程を一部改定して山岳共済会運営委員会規程を定め、山岳共済会運営委員会(水島彰治委員長)を立ち上げ、山岳共済会の運営及び会員の加入促進、次年度事業計画、収支予算(案)等を検討した。

### <山岳共済会役員>

会長	尾形好雄	監事	内藤順造
幹事	水島彰治	監事	岡本忠良
幹事	相良忠麿	監事	中嶋正喜
幹事	小野寺齋		
幹事	松隈 豊		
幹事	瀬田順一		

### <山岳共済会運営委員会>

委員長	水島彰治
委員	尾形好雄
委員	小野寺齋
委員	相良忠麿
委員	西内 博
委員	松隈 豊
委員	瀬田順一

## 2. 共済会加入者数(12月31日現在)

56,032人(前年比835人増)

(内 訳)

<u>個人加入</u>	<u>34,970人(前年比791人増)</u>
	登山：11,675人(前年比678人増)
	ハイキング：23,295人(前年比113人増)
<u>団体加入</u>	<u>20,983人(前年比47人増)</u>
	登山：11,468人(前年比5人減)
	ハイキング：9,515人(前年比52人増)

※共済会のみ加入者 79人（前年比3人減）  
共済会費収入：53,599,000円  
郵便振替手数料：4,274,678円  
口座振替手数料：256,822円  
クレジット決済手数料：115,845円  
損害率（平成24年9月～平成27年8月）33.15%（前年実績30.8%）  
優良割引率：25%（平成28年度適用、27年度と同率）

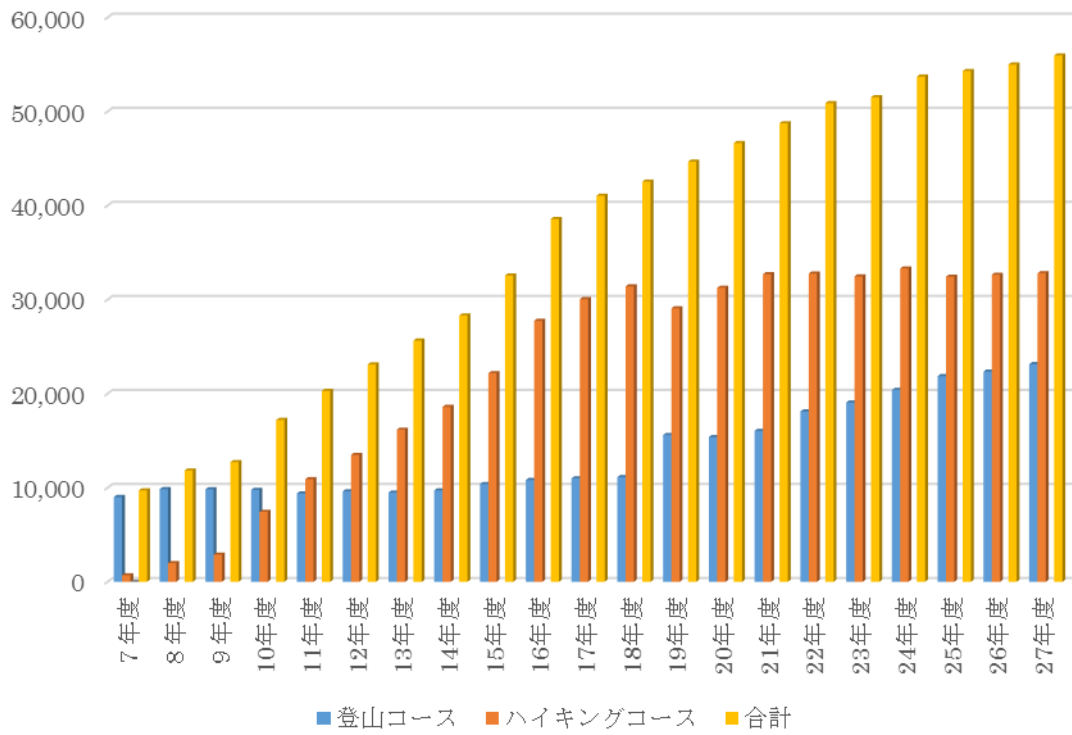
### 3. 共済会事業

- ア 共済事業に対する交付  
交付申請：29件（前年度未払3件、今年度未払い1件含む）
- イ 疾病死亡弔慰見舞金の交付  
交付申請：6件
- ウ 位置探知器「ヒトココ」のレンタルサービス開始

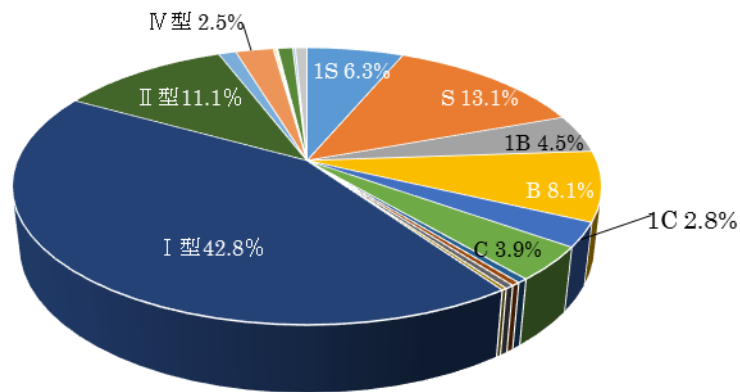
### 4. その他

- ア 山岳共済会の平成28年度用葉の見直し・デザインの検討・印刷・発送。  
平成28年度葉は、新規加入者と継続加入者用の2種類を作成
- イ 平成28年度「山岳遭難・捜索保険」案内の内容検討・印刷・発送
- ウ 「山岳遭難・捜索保険」の自動継続制度の利用推進
- エ Webサイトからの申込みとクレカ決済開始（7月より）
- オ 山岳保険の告知として「ヤマテン」、「ヤマレコ」等のHPにバナー掲出（継続）
- カ 日本山岳協会『登山月報』（4～3月号）、高体連登山専門部『登山部報』、インターハイ登山大会、全日本クライミング選手権日本ユースボルダリング競技大会、第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会プログラム、HAT-J機関誌、『岳人』（7～3月号）、毎日新聞旅行のカタログ「まいたび」に山岳共済会の広告出稿。
- キ カatalog「まいたび」に山岳共済会葉を同封発送（6月、2月の年2回）
- ク 日本山岳協会山岳共済会規程の一部改定及び山岳共済会運営委員会規程の整備

### 山岳遭難捜索保険の加入推移 (1995～2015)



### 加入タイプ別



- 1S ■ S ■ 1B ■ B ■ 1C ■ C ■ 1D ■ D ■ 1E ■ E
- I型 ■ II型 ■ III型 ■ IV型 ■ 1L ■ L ■ 1M ■ M ■ 1N ■ N
- 1O ■ O ■ 1P ■ V型 ■ VI型 ■ VII型 ■ X ■ CL1 ■ CL3

## 平成 27 年度事故状況

事故総数：608 件（前年比 103 件増）

内 訳：登山コース 217 件（前年比 10 件減、内 121 件は登山以外の事故）

ハイキングコース 391 件（前年比 113 件増、内 237 件は登山以外の事故）

